

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぷだより

NO. 266 責任者
青山 茂次郎

スポーツで白熱！ 北千里高校の生徒さんが考案！



最高得点の的

配机の上に配置された 色とりどりの的を狙うゲーム！！

12月下旬、吹田市社会福祉協議会の紹介で北千里高校の生徒さんがSDGsを考える取り組みの一環で来所されました。障がいのある方でも楽しめるスポーツを考え利用者の皆さんと会って話をし、利用者さんの障がい状況等も見てもらい、どんなスポーツがいいかを学校で話し合ってもらいました。当初は床に座ってラケットを持ち、相手と対面して打ちあうテニスのような競技を考えていただいていましたが、車椅子の利用者が多いため、昇降テーブルを使い、足や手が不自由でも参加できるようにと新しいスポーツを考え直すとの事でした。

1月16日に再び来られた時には、ボールはピンポン玉で転がりやすいようにしたり、傾斜をつけたテーブルを使ったり、そして落ちないように段ボールで壁を作ったりとさまざまな工夫がされていました。ゲーム形式も対戦の形から、さまざまな色の的に当たれば点数となるピンボールの様なものになり、転がしたりバウンドさせ



楽しんだ後にみんなでカシャツ！！

たりして、利用者みんなが楽しめるゲームになっていました。的の色によって点数が違うので「赤色は1点やから5点の黄色をねらう」と転がすのか、バウンドさせて狙うのか、よく考えて投げる利用者さんの姿もありました。また、玉が軽く小さいので投げやすく、利用者さんのことをよく考えられているゲームでみんなで大盛り上がり。

最後は表彰式。笑顔溢れる素敵な時間となりました。皆さんが楽しい時間を共有でき、お互いにとって有意義な時間を過ごせました。



同じ北千里高校の方ですが、別のグループで車椅子利用者の事を勉強しに来られました。

ライヤーって知ってますか？

～ライヤー演奏会～

1月15日(水)にライヤーアンサンブルグループ「Musik Brunnen(ムジーク・ブルネン)」の方によるライヤー演奏があいほうぷで開催されました。「ライヤー」とはドイツ語で「竖琴」を意味する弦楽器で心地よい音色と静けさが特徴で、心に響く楽器として知られています。20世紀に入ってから作られた、まだ100年の歴史もない新しい楽器だと教えて頂きました。

クラシックから童謡など様々な音楽を弾いて頂き、その透き通った音色にみんな聞き入っていました。中にはウトウトと眠ってしまう利用者さんもおられました。演奏者のメンバーの方は、「眠ってもらうことも演奏会の成功の一つ。」とのこと。優しい音色でした。最後には、ライヤーに触れる機会もありみんな興味深々でした。



ライヤー演奏に挑戦する利用者



1月8日星の会主催の新年会を開催しました。全員で多目的ホールに集まり、毎年恒例、獅子舞の登場や年男年女の皆さんによる書き初めをしました。獅子舞が出てくると喜んで噛まれる人、「やめてー！」と手で払いのける人、横目で恐る恐る見る人など様々な反応がありましたが、みなさん無事(?)噛まれることができ、今年も良い一年が過ごせる事と思います。また、書き初めは年男年女で分担して書き、とても個性あふれる作品となり良いスタートをきれました。



年男年女による書き初め



完成した干支の書き初めをみんなで確認

小高さんと一緒に考えよう

「如己堂は永井隆博士が晩年を過ごした場所です。不穏な空気が世界を覆う中、今回はこの小屋についてのお話を小高さんは希望されました。」



昭和23年の春、一面焼け野原になった長崎の町にバラックが立ち始めた頃、浦上の人々やカトリック信者の仲間たちの手により、病に伏した博士の為のこの住まいが立てられました。中の広さはわずか二畳でしたが、この小さな場所から、世界を覆いつくすような祈りが発信されました。「如己堂(によこどう)」という名前は、新約聖書の「隣人を己の如く愛せよ」という言葉に由来し、戦争や原爆という過酷な現実を生き抜いた博士の深い祈りと信念が込められているそうです。この小さな家は、長崎に落とされた原爆による甚大な被害の中で、永井博士が妻を失い、自身も被爆者として闘病しながら、人間愛と平

和への思いを絶えず発信し続けた場所でした。

現在、世界では様々な人々に対立し、沢山の命が奪われています。出口の見えづらい戦争が続く中、原爆の様な核兵器が再び使われない保証はどこにもありません。そんな世界に生きる私達は、改めて「平和とは何か」を一人ひとりが問う時に来ているのだと思います。博士は甚大な被害に合いながらも、この2畳一間の如己堂で「全ての命が尊重される世界」を祈り続け、「この子を残して」や「長崎の鐘」等沢山の作品を残されました。この如己堂の存在は、平和の尊さを改めて私達に教えてくれる大切な物です。

小高さんをはじめ、あいほうぶ吹田の私達は、この如己堂の存在を全く知りませんでした。しかし、それを知り、こうやって少しでもこの様な形で皆さんに知ってもらえる機会を作ってくれた、現代日本の平和な社会とその礎を築いてくれた永井博士をはじめ、戦争犠牲者の皆さんに小高さんは感謝しています。

如己堂は現在、長崎市の平和公園近くにあり、博士の生活や思想を伝える記念館として保存されています。「1度は行きたい」とのことです。

あいほうぶ吹田の講座

健康ボッチャ教室 がはじまりました

毎週火曜日9時から10時まで多目的ホールで、体操や筋トレ、ボッチャのゲームを参加者のみなさんと楽しんでいきます。

継続して参加をされる方には、2か月ごとに筋力やバランス測定を行い、理学療法士が専門的な視点で身体状況の把握とアドバイスをしています。

ぜひ市民の方にご利用いただき、健康的な生活を送っていただければと思っています。参加は無料です。1か月前から申し込みを受け付けています。申し込み方法はQRコード(左)か、あいほうぶ吹田1階カウンターでお申込みください。



実践を通してボッチャの奥深さも知ってもらえる良い機会になっています



● ● 作：中村

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日はあいほうぷ吹田の温水プールと介助浴室を一般の方に開放しています。

プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方：吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。

プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

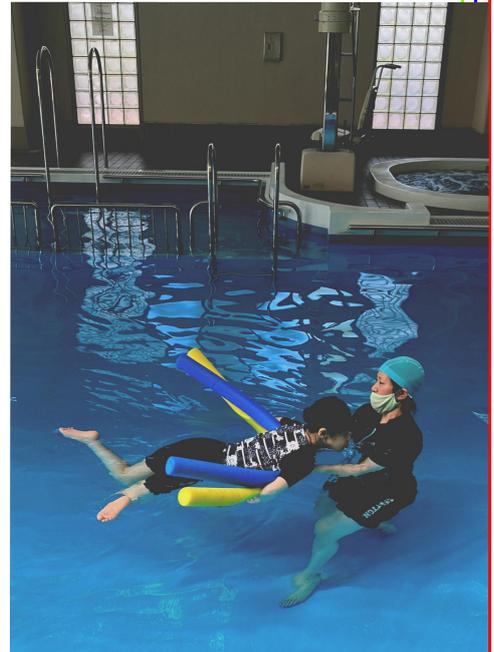
利用時間：10時～16時

注意事項 プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。
- ・原則1時間に1組。
- *ボディソープ、シャンプーはご持参ください。



多目的ホール・会議室が 利用できます

(土日9時～17時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

新しい年が始まり、早いもので、一ヶ月が経ちました。「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、すごい速さで過ぎ去る日々は皆さんも実感されていると思います。「新年の抱負を立てたのに、まだ一割も進んでいない」なんて思うのは私だけではない事を祈ります。(笑)

そんな視点で世界に目を向けてみると、ロシアがウクライナに侵攻して、早三年が経とうとしています。このあつという間に感じる時の中で失われた人の数は何百万人ともいわれます。この様に一瞬にして人の命を奪い去る戦争が、この時代に起こっている事が、未だに信じられませんが、色々な事でも議論を醸し出しているトランプ大統領ですが、少し期待するのは私だけでしょうか。 Y



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぷ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>